

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		道路管理事業	担当課	建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	法定事務
	基本事業	道路の適切な維持管理	市民協働	
予算科目コード		01-080101-02 単独	根拠法令・条例等	道路法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 市内全域において、新設改良，拡幅改良，維持補修等を実施した路線の構造，区域，道路施設等，道路管理に必要な事項の道路台帳補正のほか，測量業務等を行う。
道路の適切な維持管理を図るため，道路法により道路台帳の調製，保管及び閲覧に供することが定められているため。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
道路台帳及び道路境界確定図書ファイリングシステムの更新により，最新の市道の現況を的確に捉え，維持管理を適切に行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
歩行者・自転車・自動車が安全に通行できるよう，維持管理や補修を行う。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
適切に道路台帳を調製し、保管及び閲覧に供することができた。	既存データの整理や道路改良工事による台帳整備を進めた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
道路台帳整備率	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	道路整備状況を的確に更新し、最新の道路整備状況を把握する。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	毎年度、法に基づき道路台帳を更新・保管し、市道の維持管理を適切に行う。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	12,077	14,503	15,926	14,180	15,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	12,077	14,503	15,926	14,180	15,000
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	2,822.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	11,570	0	0
トータルコスト		12,077	14,503	27,496	14,180	15,000

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		道路補修事業	担当課	建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	法定事務
	基本事業	道路の適切な維持管理	市民協働	
予算科目コード		01-080201-01 単独	根拠法令・条例等	道路法

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 道路清掃・路肩除草及び道路排水施設の清掃等を行う。また、道路状況が悪化した箇所を補修する。
道路が安全に通行できるよう、常時良好な状態に保持する必要がある。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
一般交通に支障を及ぼさないように道路の維持、修繕を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
歩行者・自転車・自動車が安全に通行できるよう、維持管理や補修を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
効率的な道路補修に努めることができた。	路面性状調査に基づく計画的な道路修繕及びパトロール等により発見した破損個所の維持、修繕を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
補修工事実施件数（件）	60.00	60.00	47.00	50.00	50.00
道路の不具合による事故件数（件）	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	道路状況の悪化した箇所を早期に補修することにより、快適な道路環境を維持する。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	効率的な道路の補修を実施し、適切に維持管理することにより、通行の安全を確保する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	194,165	154,664	147,312	145,966	145,966
	国・県支出金	4,719	12,540	4,510	6,600	6,600
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	34,880	34,803	35,129	35,473	35,000
	一般財源	154,566	107,321	107,673	103,893	104,366
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	1,066.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	4,371	0	0
トータルコスト		194,165	154,664	151,683	145,966	145,966

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		橋梁長寿命化修繕事業		担当課	建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間	平成26年度～
	施策	道路網・公共交通体系の整備		種別	任意的事務
	基本事業	道路の適切な維持管理		市民協働	
予算科目コード		01-080201-02 補助	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成25年度に策定した橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁の修繕を行い、橋梁の長寿命化を図る。 平成25年9月に道路法が改正され、道路施設（橋梁）の5年に一度の定期点検が義務化された。	橋梁長寿命化計画により、計画的な修繕を行うことにより予算の平準化、維持管理コストの縮減を図りながら安全で快適な道路網を維持する。今年度は、常磐自動車道をまたぐ、橋梁を含む市内58橋の橋梁点検と昨年度より行っている、市道102号線の北守谷橋の修繕工事を実施する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
従来の対処療法的な修繕及び架替えから、予防的な修繕及び長寿命化修繕計画に基づく架替えへ政策転換を図るものであり、既設橋の延命化等、効率的な修繕を行うことにより予算の平準化、維持管理のコスト縮減を行うものである。	
（参考）基本事業の目指す姿	
歩行者・自転車・自動車が安全に通行できるよう、維持管理や補修を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
橋梁長寿命化計画により橋梁の延命および補修コストの平準化を進める。	県の道路メンテナンス会議に参加。 高速道路を跨ぐ橋梁の定期点検について、管理者である東日本高速道路株式会社と協議を実施。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
修繕実施橋梁数（設計を含む累計数）（箇所）	4.00	6.00	6.00	6.00	20.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	国庫補助金を活用して実施しているが、年々内示状況も厳しくなっているが、より効率的に実施し、橋梁長寿命化計画に沿って進むよう成果の向上を図る。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	国庫補助金を活用し、橋梁長寿命化計画に基づき、効率的、計画的に補修工事を実施していく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	21,653	8,197	0	94,824	120,000
	国・県支出金	10,516	4,158	0	44,000	60,522
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	11,137	4,039	0	50,824	59,478
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	650.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	2,665	0	0
トータルコスト		21,653	8,197	2,665	94,824	120,000

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		守谷駅自由通路等維持管理事業		担当課
				建設課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち		計画期間
	施策	道路網・公共交通体系の整備		種別
	基本事業	道路の適切な維持管理		法定事務
市民協働				
予算科目コード		01-080201-04 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成17年のつくばエクスプレス開業に合わせ、歩行者動線の確保及び利便性向上を図るため、自由通路等を整備した。守谷駅の利用者が安全で快適に自由通路等を利用できるよう維持管理する。	自由通路、公衆用トイレの清掃委託、エレベーター、エスカレーターの保守点検委託、昇降機の修繕工事を実施する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
守谷駅の自由通路等を安全で快適に利用できるように維持管理する。	
（参考）基本事業の目指す姿	
歩行者・自転車・自動車が安全に通行できるよう、維持管理や補修を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
引き続き、安全安心な駅前を提供できるよう、適切な維持管理に努める	自由通路の公衆用トイレ及び通路等の清掃，昇降機等の保守点検及び修繕工事を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
施設の不具合による事故発生件数（件）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	施設を快適で安全・安心に維持する。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	快適で安全安心な駅前環境を提供できるよう適切な維持管理に努める。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	34,869	23,001	38,530	34,274	34,274
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	34,869	23,001	38,530	34,274	34,274
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	184.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	754	0	0
トータルコスト		34,869	23,001	39,284	34,274	34,274